

課題の抽出

川西町町における子どもや子育て支援に関する今後の検討課題について以下に整理します。

川西町の現状より

【子ども・子育てをめぐる現状】

- 人口推移、人口推計ともに緩やかに少子・高齢化が進行しつつあり、平成31年には総人口が8,514人、15歳未満は977人に減少。
- 出生率は全国、県を下回り、自然動態も死亡が出生を上回るが、平成23年に減少した合計特殊出生率は24年に上昇に転じる。
- 男女別就業者は町、県ともにほぼ6対4で、男女間の差が縮小。女性の就労意識の高まりが伺われる。
-
-

【教育・保育サービスの現状】

- 町内の認可保育所、幼稚園、小学校は成和保育園、川西幼稚園、川西小学校の各1箇所。幼稚園、小学校は町の中心に位置するが、成和保育園は町の西端に位置し、利用者が限られる。
- 全体の児童数が減少している中で、家庭等で過ごす就学前児童の割合が減少し、保育所、幼稚園に通う児童の割合が増加傾向にある。
- 地域における保育ニーズは、現行の認可保育所の実績値を大きく上回る。
- 学童保育対象児童数は横ばいだが、登録者数は増加傾向にある。
-
-

【子育て支援事業等の現状】

- 地域子育て支援拠点事業の利用実績は平成24年度に4,942人回、25年度に4,926人回。
-
-

アンケート調査結果より

【就学前児童】

- 定期的な教育・保育の事業を利用している回答者では「幼稚園」と「認可保育所」が約50%ではほぼ二分。今後の利用希望については、幼稚園(約55%)、認可保育所(約50%)のほか、幼稚園の預かりが約30%、認定こども園が約20%と一定のニーズがある。
- 現在幼稚園を利用している回答者の長期休暇期間中の利用希望は、休みの期間中、週に数日利用したいが約50%。
- 地域子育て支援拠点事業 今後の利用希望は約50%
- 子どもの病気やケガで通常の事業が利用できず、父親または母親が仕事を休んだ場合、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいは約50%。
- 町の子育て支援への期待について、子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい、安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい、保育所や幼稚園にかかる費用を軽減してほしいがそれぞれ40%以上を占める。

【小学生】

- 3年生以下の学童保育(放課後児童クラブ)利用は約20%。利用していない回答者のうち、今後の学童保育利用希望は約10.4%。
- 4年生以降の放課後の過ごし方(3年生以下の希望)について、放課後子ども教室を利用したいが約25%、学童保育を利用したいが約20%。
- 町の子育て支援への期待について、安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしいが50%以上を占める。

今後の課題

① 地域の子育て支援の充実

- (1) 子育て支援サービスなどの充実
- (2) 地域における子どもの居場所づくり
- (3) 住民主導の地域活動の促進
- (4) 地域をつなぐネットワークの形成

② 教育環境の充実

- (1) 生きる力の育成
- (2) 豊かな人間性の育成
- (3) 家庭・地域における教育力の向上

③ 健康管理の充実

- (1) 子どもと親の健康の確保
- (2) 食育の推進
- (3) 健康な体づくりの推進
- (4) 事故防止・医療体制などの充実

④ 子育て環境の整備

- (1) 安全な交通環境の整備
- (2) 安心なまちづくりの推進
- (3) 良質な生活環境の確保

⑤ 子育てを支える施策の充実

- (1) 子育てに対する経済的支援
- (2) ひとり親家庭等への支援
- (3) 障害のある子どものいる家庭への支援
- (4) 要支援児童への対応の充実
- (5) 子育てと仕事の両立に向けた支援

施策の体系

「川西町子ども・子育て支援事業計画」は、次の5つの基本目標に基づいて計画的、総合的に各種施策の展開を進めるものとします。

〔川西町がめざす子育てのための視点〕

〔本計画の基本理念〕

